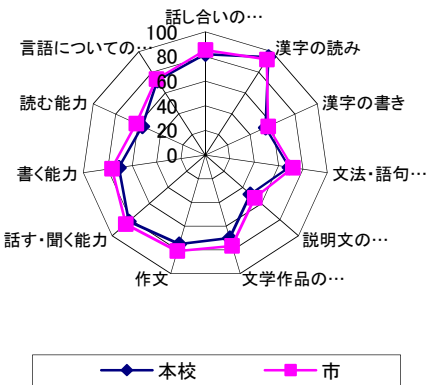


宇都宮市立国本中学校 第2学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	82.0	85.4
	漢字の読み	94.6	92.4
	漢字の書き	53.8	56.0
	文法・語句に関する知識	68.8	71.7
	説明文の内容の読み取り	48.3	53.0
	文学作品の内容の読み取り	70.1	76.7
	作文	75.2	81.1
観点別	話す・聞く能力	82.0	85.4
	書く能力	70.8	76.6
	読む能力	56.2	61.6
	言語についての知識・理解・技能	72.1	73.5



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	・平均正答率は、市の平均と比較すると、3.4パーセント低い。もっとも低かったのが「話の論理的な構成や展開を考えて聞き取ることができる」という項目で、5.1％市の平均を下回った。	・聞き取りの練習を意識して行うとともに、語彙を増やす活動を取り入れていきたい。
漢字	・読みの平均正答率は、市の平均と比較すると、2.2％高い。しかし4題中、「互角、扱う」の読みは平均を下回っている。また、漢字の書きは2.2％平均を下回った。特に書けなかったのは「救済」で、日常生活での使用頻度が低いものほど漢字に直せない傾向がある。	・新出漢字の練習は今まで通り行う。その際に、熟語で練習させたりや短文を作らせたりする練習も取り入れたい。また、本文音読の練習に機会を積極的に設け、漢字の読みの定着を図りたい。
文法・語句に関する知識	・特に、敬語については平均を7.3％下回っている。単語の分類は平均には満たなかったがほぼ、市の平均と僅差であり、7割以上正答率であった。動詞の活用の種類については何を求められているのか理解していないと考えられる。	・敬語、動詞の活用の種類についてはもう一度特設単元を設け、復習の機会を作りたい。また、他の単元であっても、文法の話題にふれ、既習内容の振り返りを行わせたい。
説明文の内容の読み取り	・特に「書き手の論理の展開の仕方を的確に理解できる」ねらいの問題についての正答率が低い。記述問題の無回答が2割近くあり、最初から諦めている者が多いことがうかがえる。「文章の展開に即して内容を捉える」問題は、市の平均にはわずかに届かなかったが9割を超える正答率であった。	・記述問題の抵抗をなくすために、普段から穴埋め、キーワードを使ってまとめる記述問題、字数指定の記述などを行い、慣れさせていきたい。また、語彙不足から読み切れないことも考えられるので、学校図書館を利用して、説明的文章の作品に触れる機会を作っていきたい。
文学作品の内容の読み取り	・特に「表現の仕方や文章の特徴に注意して読むことができる」ねらいの問題についての正答率が低い。市の平均と比べ、記述問題の無回答の率が高く、最初から諦めている者が多いことがうかがえる。	・同じ作品で、訳者の違う作品を読み比べたり、表現技法を用いて文をつくったりする活動を取り入れていきたい。また、幅広い作品に触れる機会を設けるよう、学校図書館と連携を図っていきたい。
作文	・市の平均を下回っているものの、8割を超える正答率の問題もある。7割を切ってしまったのは3段落構成で書く点。また、自分の意見を書かず作文を結んだ者が若干目立った。	・三段落という形式に慣れていないことが考えられる。いろいろな段落構成に慣れることができるようにさせたい。なかなか自分で書けない生徒には模範作品を視写をさせ、構成をつかんでから易しい題の作文を書かせるよう、段階を追って作文練習をさせる。